

科学者委員会 学術研究振興分科会（第 25 期・第 2 回）
議事要旨

1. 日 時 令和 4 年 2 月 3 日（木） 14：00～16：00
2. 会 場 オンライン会議（zoom）
3. 出席者 分科会委員：大矢根、大山、君塚、高田、丹下、日比谷、前川、
光石、三村、溝端、望月、吉村
オブザーバー：菱田（敬称略）
4. 資料： 資料 0 : 前回議事要旨
資料 1-1: 幹事会懇談会資料
資料 1-2: 総会資料
資料 2 : 学術研究振興分科会検討スケジュール（案）
資料 3 : 学術研究振興分科会論点リスト
資料 3-2: 過去のアンケート回答における指摘
資料 3-3: 対象となる研究計画の基準(2010-2020)
資料 3-4: 公募申請書記載事項の変遷(2010-2020)
資料 3-5: 分野の変遷(2010-2020)
資料 3-6: 提案者の変遷(2010-2020)
資料 3-7: マスタープラン 2020 の審査・評価プロセス
資料 3-8: 海外アカデミーに関する調査について
参考資料 1 第 20 期 報告「基礎科学の大型計画のあり方と推進について」
参考資料 2 第 21 期 提言「日本の展望－学術からの提言 2010」
参考資料 3 第 22・23・24 期 報告「マスタープランの策定方針」
参考資料 4 第 22・23・24 期 公募要領

5. 議事

- 1) 議事要旨の確認
- 2) 未来の学術振興に向けた重要な学術研究の取りまとめに向けた検討の進め方について

望月委員より資料 1-1、1-2 を用いて、経緯の説明があった。

- ・ 従来、マスタープランは提言という形で策定していたが、改革の一環で科学的助言機能を強化することとし、マスタープランの在り方についてもこの流

れの中で要検討となった。

- ・ 中長期的視点、俯瞰的視野、分野横断的な検討が強調されており、これらを押さえて提言等を発出することが重要である。
- ・ 今期、マスタープランは策定せず、代わりの取組を進めることとし、本分科会に付託・要請されている。本日は以上を踏まえて検討してほしい。

これを受け、事務局より資料2を用いて、今後のスケジュール・当面の進め方について説明があり、質疑応答を行った。さらに、事務局より資料3、資料3-2、3-3、3-4、3-5、3-6、3-7、3-8、参考資料について説明された。

その後、意見の交換を行った。最後に新規事業の名称を「未来の学術振興構想(仮)」とした。

3) その他

特になし

以上